

第4次中期計画 [概要版]

基本理念

自主・自立、共働・共助

～支えられる高齢者から支える高齢者へ～

本計画では、高齢者の就業と生きがい対策の強化に向け、多様な取り組みを推進します。

計画期間 令和5年度から令和9年度



計画策定について

公益社団法人庄原市シルバー人材センターでは、平成30年3月に策定した第3次中期計画に基づき、社会ニーズに応えるため多様なセンター事業を進めてきました。

今後とも、センター活動を取り巻く社会情勢や環境の変化に的確に対応し、課題の解決と会員の活動促進と充実、地域貢献の拡大を推進するため「第4次中期計画」を策定します。

令和5年3月



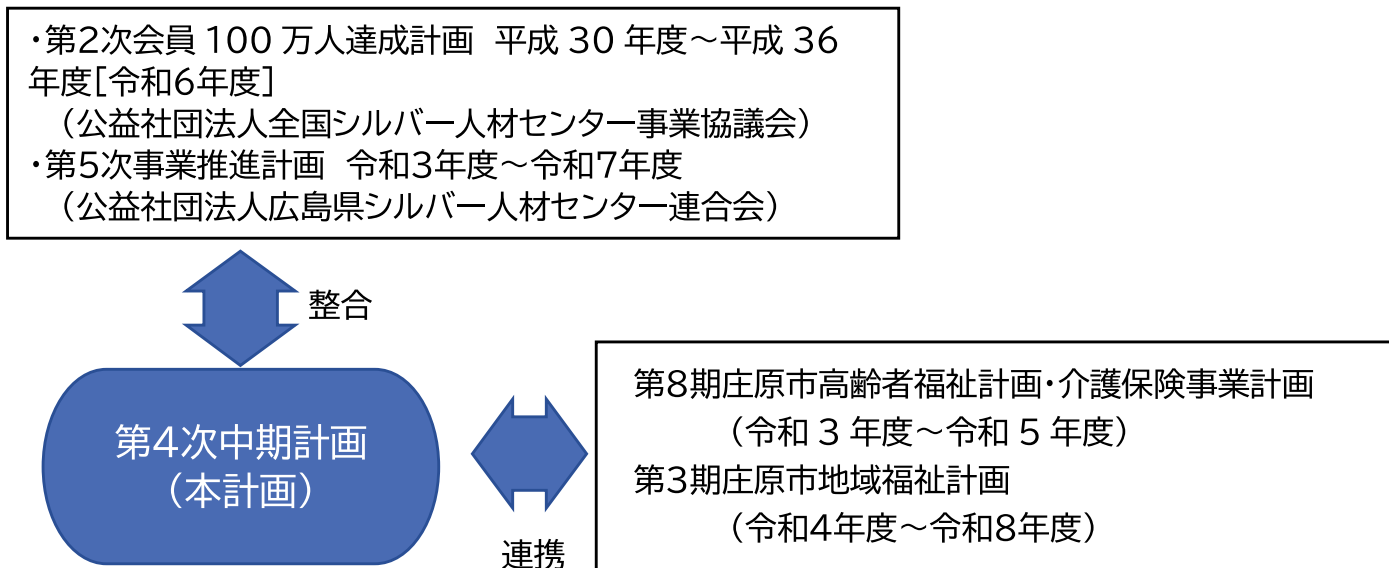
公益社団法人庄原市シルバー人材センター

計画の概要

社会的背景

少子高齢化が進む本市において、令和7年には1人の高齢者を0.9人で支える人口構造になると予測されています。高齢者雇用や年金制度の改正、全世代型社会保障改革、物価高など高齢者を取り巻く環境も大きく変容してきています。また、高齢者の平均寿命は延び「人生100年時代」と言われる一方では、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯が増加しており、安心・安全な生活への対応が求められています。

計画の位置づけ



計画の期間

本計画の期間は、令和5年度から令和9年度の5ケ年とします。なお、社会情勢や関連計画との整合、連携を図るため、適宜見直しを行います。

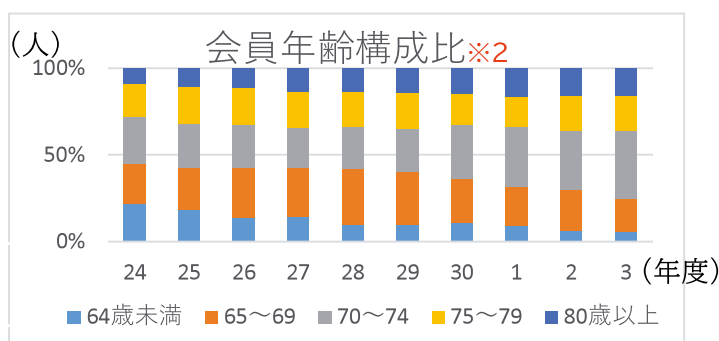
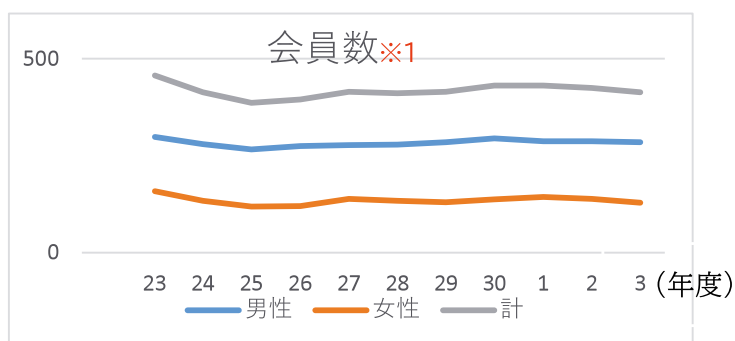
計画の策定方法

本計画は専門部会(総務部会及び事業部会)を策定の主務部会とし、事務局において素案を策定し、地区懇談会において会員の意見を取り入れながら、内容検討を行い策定しました。

センターの現状

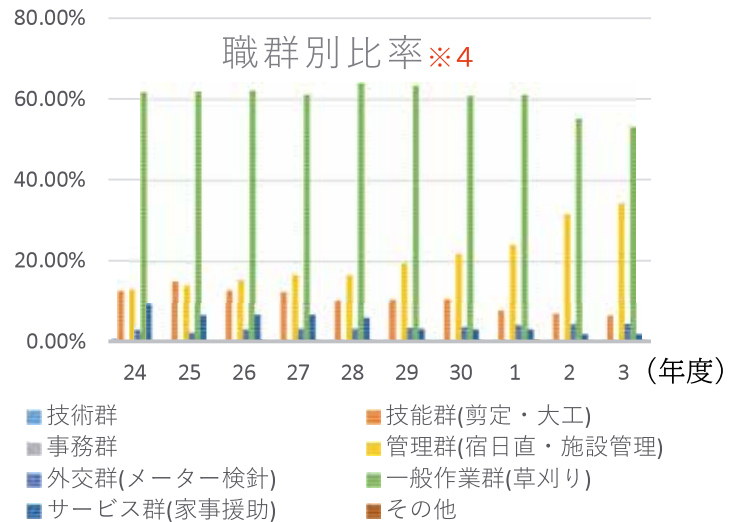
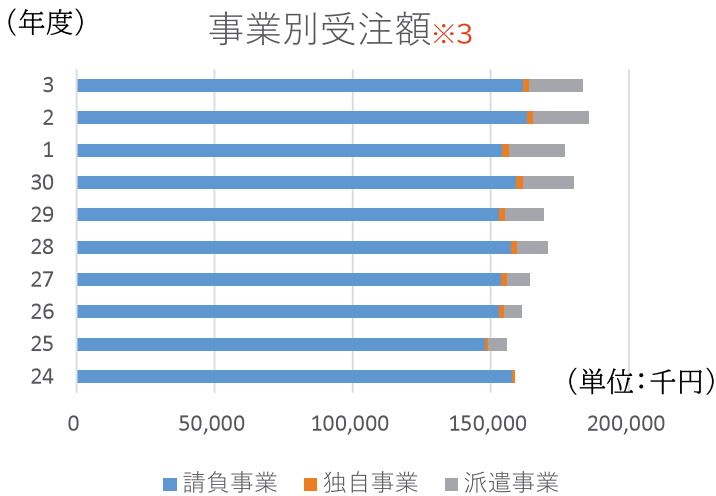
会員の減少と高齢化

平成24年度以降、市内の人口は毎年6～700名ほど減少し続けており、会員資格がある60歳以上も毎年200名程度減少している中で、センター会員も平成23年度の457名から令和3年度では413名と減少しています。**※1** また、平成24年度には60歳代は約45%ありましたが、減少が続き令和3年度では25%程度まで大きく減少しています。一方で、70歳代以上が増加しており、会員の高年齢化が進んでいます。**※2**



事業実績(請負・委託、独自、派遣)

受注のうち、近年の請負事業は1億6千万円程度、独自事業200万円前後で推移しています。派遣事業は平成26年度から平成30年度までは大きく伸びてきましたが令和元年以降は、2千万円前後で新型コロナウイルスの影響もあり伸びは減速しています。※3



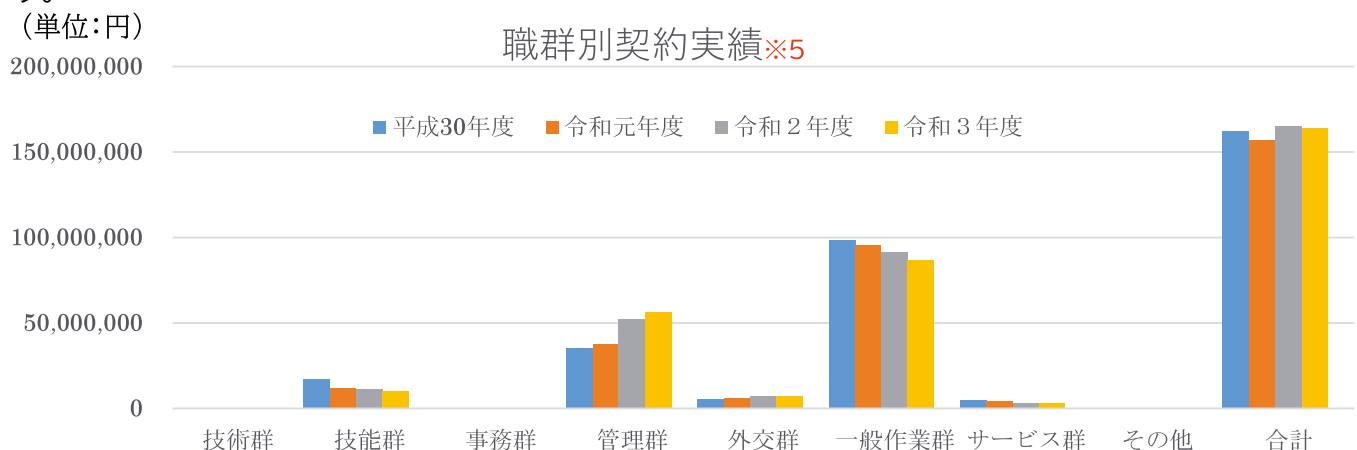
技能群(剪定・大工)や一般作業群(草刈り)、サービス群(家事援助)の受注比率は減少していますが、管理群(宿日直・施設管理)の受注比率は増加の傾向にあります。※4

剪定や草刈りに就業される会員の高齢化や退会により、剪定では令和元年度以降、草刈りでは令和2年度以降減少傾向にあり、一方で、発注者からの剪定や草刈り作業の依頼は、増加の傾向にありますが、手持ち受注もあり発注者の希望する時期にすべてを完了することが困難な状況となっています。

職群別の契約状況

※5 会員の就業率は82%と高い割合にありますが、一般作業群(草刈り、墓掃除等)や技術群(剪定)では就業会員の減少と高齢化により、契約額も減少してきています。

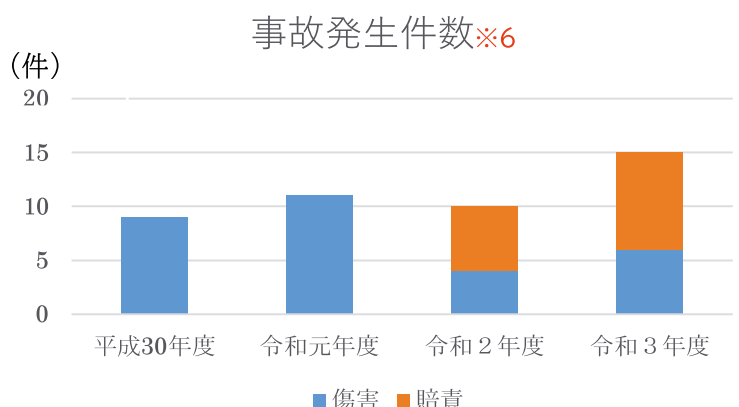
また、管理群(宿日直・施設管理等)、外交群(メーター検針等)への就業ニーズは増加し、既存の会員のみでは賅えきれず、就業できる人を探し、会員登録して就業をしています。しかし、事務群、サービス(家事援助等)は発注者ニーズが少なくなっており、発注者ニーズと受注受容力、会員ニーズのアンマッチ(不一致)が主な原因と考えられます。



事故の発生件数

傷害は骨折や蜂刺され、熱中症、賠償は草刈り作業中の飛び石による事故が多く発生しています。

傷害、賠償発生件数の多くが草刈り作業中に発生しており、安全対策と安全意識の醸成が重要となっています。※6は第3次計画期間中の傷害事故と賠償責任事故の発生件数で、増加の傾向にあります。

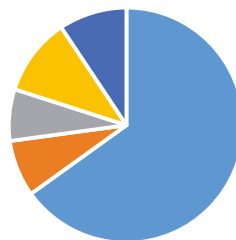


センターの財源構成

※7は第3次計画期間中の平成 30 年度から令和3年度までの間における経常収益をベースに支払配分金、支払材料費、国補助金、市補助金、自主的財源の平均割合を示したものです。

収益財源全体の約 3/4 は会員の就業に伴う支出(支払配分金、支払材料費)で、自主的財源の比率は収益財源全体の約 8.3%となっています。収益財源全体から支払配分金、支払材料費を除いた報酬や給与費、事務所経費、租税公課等の運営経費に占める公的補助金への依存比率は 65.6%、補助金以外の自主的財源の比率は 34.4%で、概ね 2/3 は国と市からの補助金で賄われおり、公費補助金への依存度が高い状況です。

財源構成※7



■ 支払配分金 ■ 支払材料費 ■ 国補助金 ■ 市補助金 ■ 自主的財源

令和9年度の目標値

第4次中期計画の最終年度(令和9年度)における目標値は、次のとおりとします。

会員数 520 人、就業率 85%

請負事業 196,400 千円、独自事業 2,600 千円、派遣事業 26,400 千円

傷害事故、物損事故の件数 0件

目標達成の方策

「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、国が進める少子化対策、全世代型社会保障改革、さらには第3期庄原市地域福祉計画や第8期庄原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画、第2次会員 100 万人達成計画(全シ協)、第5次事業推進計画(県シ連合会)に連携し、人生 100 年時代の到来を見据え「支えられる高齢者から支える高齢者へ」を基本目標として、第4次中期計画の目標達成及び当センターに寄せられるステークホルダー(利害関係者)の期待に最大限応えるため、「会員確保と就業環境等の整備」「就業の開拓」「安全・適正就業の推進、徹底」「安定した事業運営と組織強化」を柱(目標達成の柱)に設定し、会員、役員、職員が一体となり着実に取り組みを進めます。

基本理念	基本目標	目標達成の柱	事業の項目	事業の取り組み	
自主 自分のもので考える	支えられる高齢者から支える高齢者へ	1 会員の確保と就業環境等の整備	(1)新規会員の入会促進、退会防止	活動のアピール、会員による勧誘、他団体との連携、退会防止、交流と親睦、女性会員拡大、多様な入会説明会など	
			(2)就業環境等の改善	就業報酬見直し基準単価の見直し、作業機械導入・支援、夏季屋外作業への配慮など	
			(3)シルバー活動の周知(会員拡大)	市民・企業周知、活動のアピール、イベント開催・参加、会員参加の促進など	
		自立 自分たちの力で育てる	支えられる高齢者から支える高齢者へ	2 就業の開拓	(1)シルバー活動の周知(就業開拓)
(2)受注職種の確保、拡大	後継者の育成、新たなサークル活動など				
(3)独自事業の強化	研修会、講習会による会員のスキルアップ、安全と技能の向上など				
(4)研修会、講習会の受講	研修会、講習会による会員のスキルアップ、安全と技能の向上など				
共働 一緒に頑張って働く	支えられる高齢者から支える高齢者へ	3 安全・適正就業の推進、徹底	(1)安全な就業(事故・けがの防止)	関係法令等の遵守、危険・有害作業の禁止、ミーティング安全チェックの徹底、体調管理、注意喚起など	
			(2)適正な就業	適正就業ガイドラインの遵守、適正見積、ワークシェアリングなど	
共助 お互いに助け合う		支えられる高齢者から支える高齢者へ	4 安定した事業運営と組織強化	(1)収入の確保と支出の削減	行政への継続した支援要請活動、会員拡大等による補助金確保、事業量拡大による独自財源の確保など
				(2)マネジメントの推進	経費削減、事務効率化、職員数、雇用形態など
	(3)コンプライアンスの遵守とガバナンスの強化			組織、経営、リスク、情報公開及びPDCAサイクルによる実施計画の管理と最適化など	
					組織会議の活性化
				コンプライアンスの遵守	
				ガバナンスの強化による組織規律の確立	

事業の取り組み

<p>1 会員の確保と就業環境等の整備</p> <p>(1)新規会員の入会促進、退会防止</p> <ul style="list-style-type: none">イ. 市民に知ってもらう。ロ. 他の団体と連携する。ハ. 退会を防止する。 <p>二. 交流し親睦を深める。</p> <ul style="list-style-type: none">ホ. 女性会員の拡大を図る。ヘ. 多様な入会説明会を開催する。 <p>(2)就業環境等の改善</p> <ul style="list-style-type: none">イ. 就業報酬見積基準単価を見直す。ロ. 機械作業を支援する。ハ. 夏季屋外作業に配慮する。 <p>(3)シルバー活動の周知(会員拡大)</p> <ul style="list-style-type: none">イ. 市民に知ってもらう。(特に60歳以上)ロ. 地域貢献活動をアピールする。ハ. イベントを開催・イベントに参加しアピールする。ニ. 会員の活動参加を促す。	<p>2 就業の開拓</p> <p>(1)シルバー活動を周知(就業開拓)</p> <ul style="list-style-type: none">イ. 発注者(市民・企業)に知ってもらう。ロ. 地域貢献活動をアピールする。ハ. イベントを開催・イベントに参加しアピールする。 <p>(2)受注職種の確保、拡大</p> <ul style="list-style-type: none">イ. 市場調査と営業活動を行う。ロ. 事例調査を行う。 <p>(3)独自事業の強化</p> <ul style="list-style-type: none">イ. 後継者の育成を図る。ロ. 新たな事業を始める。 <p>(4)研修会、講習会の受講</p> <ul style="list-style-type: none">イ. 会員のスキルアップ(技能や能力の向上)を図る。
<p>3 安全・適正就業の推進、徹底</p> <p>(1)安全な就業(事故、けがの防止)</p> <ul style="list-style-type: none">イ. 研修会、講習会を受講する。ロ. 安全就業に関する決まり事を守る。ハ. 作業前ミーティングと安全チェックを励行する。 <p>二. 自己の体調管理と会員同士で気配りをする。</p> <ul style="list-style-type: none">ホ. 注意喚起する。 <p>(2)適正な就業</p> <ul style="list-style-type: none">イ. 適正就業に関する決まり事を守る。ロ. 現地確認を原則として適正な見積をする。ハ. ワークシェアリング(就業機会の公平化)する。	<p>4 安定した事業運営と組織強化</p> <p>(1)収入の確保と支出の削減</p> <ul style="list-style-type: none">イ. 収入を確保(補助金)する。ロ. 収入を確保(自主的財源)する。ハ. 支出を抑制する。 <p>(2)マネジメント(計画-実行-審査の循環)の推進</p> <ul style="list-style-type: none">イ. 組織マネジメントに取り組む。ロ. 経営マネジメントに取り組む。ハ. リスクマネジメントに取り組む。 <p>二. 情報公開を進める。</p> <ul style="list-style-type: none">ホ. 組織会議を活性化する。 <p>(3)コンプライアンス(法令等の遵守)とガバナンス(管理)の強化</p> <ul style="list-style-type: none">イ. コンプライアンスを守る。ロ. ガバナンスを強化する。



第4次中期計画[概要版] 令和5年3月発行

公益社団法人 庄原市シルバー人材センター

〒727-0021 広島県庄原市三日市町 20 番地 13

TEL:0824-72-1135 FAX:0824-72-8733

E-mail : sjc@syobara.jp HP : <https://webc.sjc.ne.jp/syobara/>

シルバー人材センターの基本理念

- 【 自主 】： 自分のものとして考える
- 【 自立 】： 自分たちの力で育てる
- 【 共働 】： 一緒になって働く
- 【 共助 】： お互いに助け合う

私たちの自覚と心構え

私たちは、シルバー人材センターの活動に参加し、活力ある地域社会づくりに寄与するために、次のことを遵守します。

- 一私たちは、働くことによる社会参加に喜びと生きがいを求めます。
- 一私たちは、シルバー人材センター会員としての誇りを持って就業します。
- 一私たちは、豊かな経験を生かして誠実に仕事に取り組めます。
- 一私たちは、常に健康と安全に留意し注意力をもって就業します。
- 一私たちは、会員相互の共働・共助を大切にして仕事の責任を果たします。
- 一私たちは、ボランティア活動への参加やサークル活動など『できること』『できる範囲で』社会参加の更なる促進を図ります。